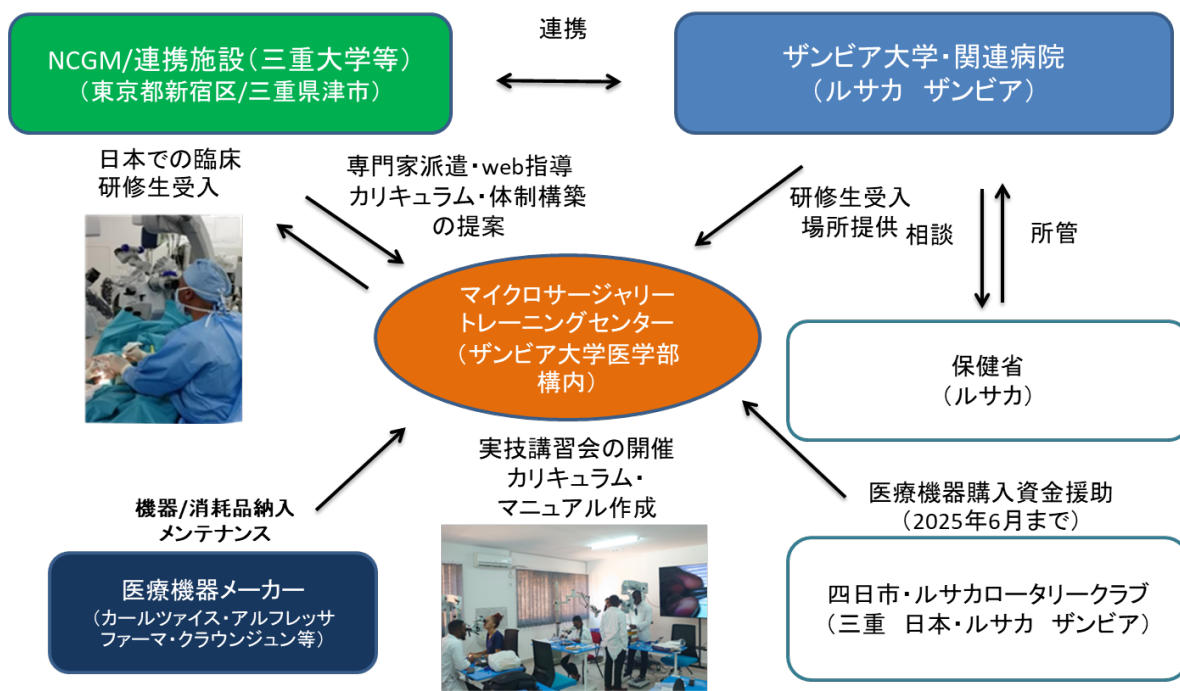


ザンビアにおけるマイクロサージャリー技術トレーニングシステム展開事業

微細血管吻合のマイクロサージャリー技術は、アフリカでニーズはあるが、習得者がほぼ皆無で過去45年間でほとんど実施できていない。これに対し、ザンビア国でマイクロサージャリー手技の普及を展開することが目的である。日本が世界をリードしている技術であり、当科はその最先端治療を行っている。ザンビア大学医学部内に設置したトレーニングセンターおよびwebによる技術講習会の開催のため国立国際医療研究センターおよび連携病院の形成外科医師派遣、これらの病院での臨床実地研修を行う。その結果として、ザンビアでのマイクロサージャリー技術を習得した医師を育成しつつ、現地に即したトレーニングカリキュラムを策定し、トレーニングセンターのザンビア大学による主体的運営への移行を5年後に達成することを目指す。また継続的な実臨床への技術導入による医療水準の向上効果が期待される。



＜研修スケジュール予定＞

- ・5-6月ザンビア大学関係部署と事業遂行のためのweb meeting
- ・6月トレーニングカリキュラムの確定
- ・7月と11月 ザンビアでの講習会開催と専門家派遣（現地1名とweb指導1名）
- ・11-2月 日本での臨床実地研修のための研修生受入（2名）
- ・11月 打ち合わせのためザンビア人指導医師の日本招聘（1名）
- ・1-2月トレーニングカリキュラムのブラッシュアップのためのweb meeting